

## 槍ヶ岳 山行報告

1. 目的 地 : 北アルプス 槍ヶ岳(3180m)
2. 日 程 : 2009年8月6日(木)~8日(土)
3. 天 候 : 6日晴れのち曇りのち雨 7日雨のち晴れ 8日曇り後晴れ
4. 参 加 者 : 参加者3名(男性2名・女性1名)
5. 参 加 費 : 25,100円(山小屋2泊(8,300+9,000)・高速料金・ガソリン代・運転手謝礼・事故保険金)
6. コースタイム:

新穂高温泉無料駐車場 ~ 白出沢出合~槍平小屋(泊)  
6日10:15 13:25  
槍平小屋 ~ 槍ヶ岳山荘 ~ 槍ヶ岳 ~ 槍ヶ岳山荘(泊)  
7日6:30 10:35~17:30 18:00~18:40 19:00  
槍ヶ岳山荘 ~ 槍平小屋 ~ 白出沢出合 ~ 新穂高温泉無料駐車場  
8日6:40 9:40~10:10 14:00

7. 標 高 差: 6日:登り約1000m 7日:登り約1180m 8日:下り約2060m
8. 周辺情報 : 無料駐車場は新穂高温泉の手前にある。トイレはそこから20分ほど歩いた新穂高温泉バス停にある。
9. 山行状況 : 今夏は天候が安定しない。当初は4~6日の予定だったが、天気予報がよくないので6~8日に延期して実施。このため参加者が7名から3名になってしまった。

1日目はまず新穂高温泉を出発して白出(しらだし)沢出合まで2時間ほどの林道歩き。広葉樹林の巨木の中なので気分がいい。白出沢はその名のとおり、膨大な量の白い石が山の奥から押し出されてきたような白い河原。ここから先は普通の登山道になる。途中、いくつか水場があって、うまい水が飲める。今日は晴れ時々曇りの予報だったので、登るにつれ天気がわるくなり、槍平小屋の手前で雨が降り出した。やむなく雨具を着けたが、歩き出したらすぐに小屋に着いてしまった。小屋に入ってから土砂降りの雨になったので、まずはラッキーでした。小屋は割とすいていて6畳部屋に3人。宿泊料シルバー割引あり。

2日目は、朝4時頃ひどい雨だったが、6時頃になると雨が弱くなってきた。予報では今日は雨が降らないはずだったので、雨が止むことを期待して小屋を出発。しかし雨はいつまでもやまず、結局、槍ヶ岳山荘に着くまで降り通し。槍ヶ岳山荘まで標高差1000m強の登りだが、ガスで何も見えなかった。ただ、このコースには標高差100m毎に標高表示板が立てられているので、周囲が見えなくてもどの辺まで登ったのかが分かり、助けられた。雨のため休憩時間が短かったせいか、予定より早く山荘に着いてしまった。とりあえず着替えをして濡れた衣類を乾燥室につるして、雨が止むのを待った。天気がよければ、槍ヶ岳の頂上はすぐそばに見えているはずである。しかし何時になっても雨は止まない。この日の登頂はあきらめて17時から夕食。ところが、夕食を終えて外に出てみると、何と、雨が止み、ガスが晴れて、眼前に槍の穂先が見えるではないか。西の方には青空も見えてきた。すぐに支度をして頂上へと向かう。頂上に立つと360°の展望。穂高岳、常念岳、薬師岳など北アルプスの山々は勿論、遠くには富士山まで見える。もう大感激でした。夕方だったので、登ってくる人も少なく、頂上では夕日が落ちていくのをゆっくりと眺めることができた。おまけに薄いガスがかかって、プロッケン現象まで見せてくれた。山荘に戻って登頂祝いの乾杯。というわけで、この日は雨に悩まされたものの、最終的には大満足の1日になりました。

3日目は下るだけ。雨は降っていないが、ガスがかかっていて、槍の頂上は見えない。昨日登っておいてよかった。下り始めると間もなくガスがきれ、広大なお花畠の斜面が姿を現した。花は全盛期を終わっていたが、それでもハクサンイチゲ、ミヤマキンポウゲ、チングルマなど、沢山の花をみることができた。ゆっくり下って、槍平小屋の横の広い棧敷で軽い食事。一昨日は雨で表に出られなかつたので、小屋の外の開放感は何ともいえなかつた。あとはひたすら下って新穂高温泉に到着。

10. 写 真 :

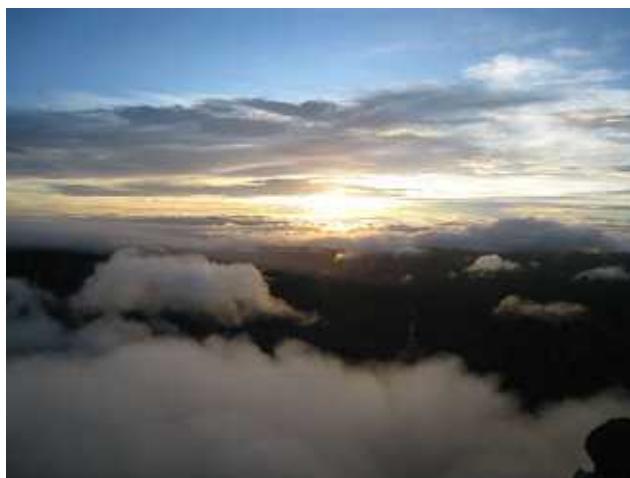
槍ヶ岳山荘での夕食：このあと天気が劇的に回復



槍ヶ岳の頂上



頂上からの夕日



これから下り、槍ヶ岳山荘の前で



下る途中、お花畑の大斜面



槍平小屋の棧敷で軽食

